

令和8年度 南九州市当初予算

一般会計 255億2,800万円 (対前年度比△15.5%)

特別・企業会計 125億8,942万円 (対前年度比△0.7%)

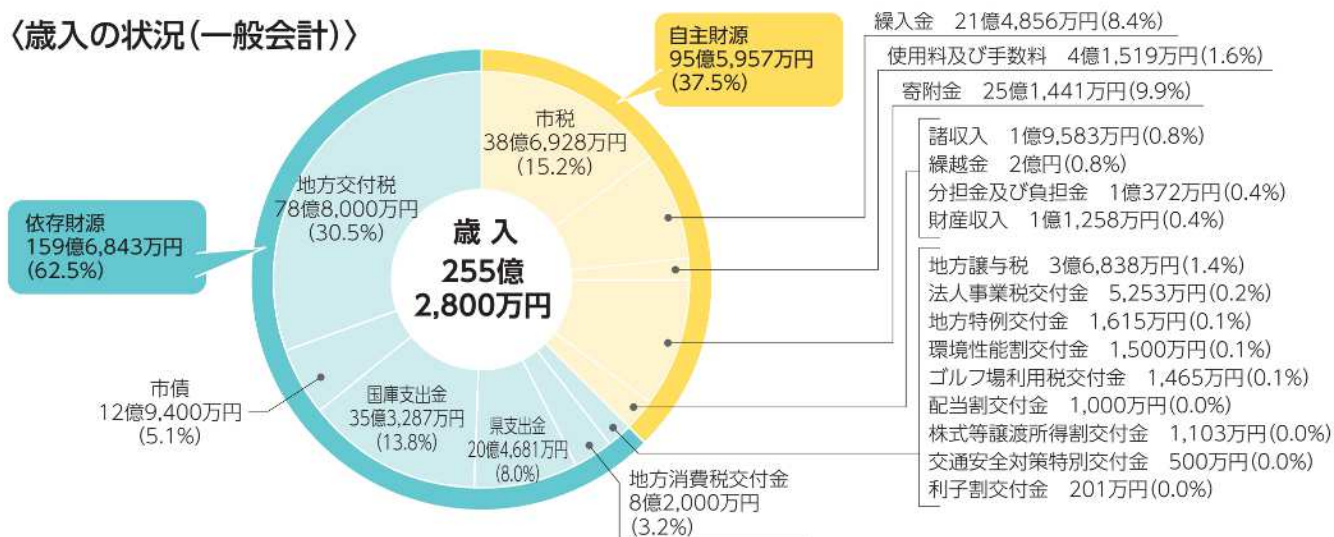
南九州市の令和8年度当初予算は、行政改革大綱、集中改革プランおよび中期財政計画に基づき、長期的視点に立った持続可能で健全な財政運営に努めるとともに、第二次総合計画において掲げた将来都市像の実現に向けた諸施策を確実に推進するため、選択と集中を徹底したメリハリのある予算編成としました。

特に、地域の発展と住民福祉の向上を図るため、「子育て支援の充実」、「移住定住策の推進」や「稼ぐ観光戦略」を通じた地域活性化対策などに重点的に予算配分を行い、激変する社会経済情勢や高度化・多様化・複雑化する行政需要に創意工夫を有って的確に対応していきます。

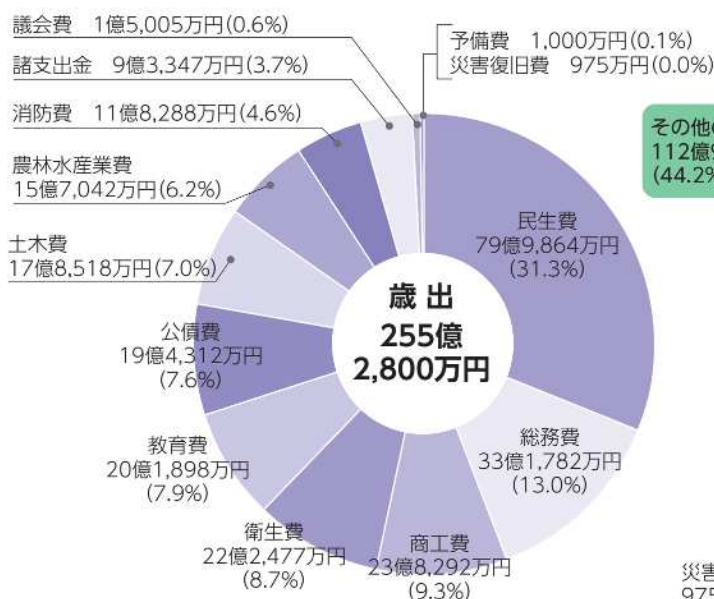
このようなことを踏まえた一般会計の総額は255億2,800万円で、前年度比15.5%、46億6,700万円の減と歳出の質を高める予算編成となりました。また、一般会計と特別会計および企業会計を合わせた予算総額は、381億1,741万8千円で、前年度比11.1%、47億5,151万9千円の減となりました。

令和8年度当初予算の歳入歳出状況

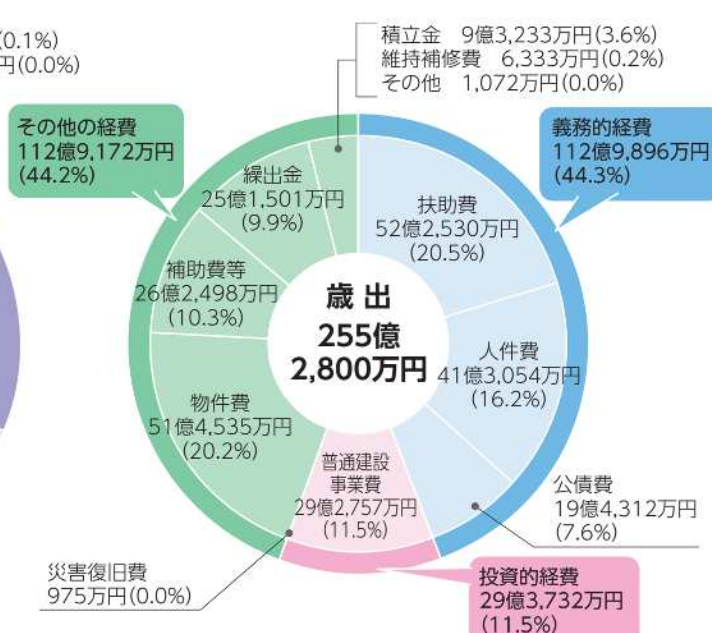
〈歳入の状況(一般会計)〉



〈目的別歳出の状況(一般会計)〉



〈性質別歳出の状況(一般会計)〉



会計別の歳出予算額比較

区分	令和8年度	令和7年度	比較	
			増減額	増減率
一般会計	255億2,800万円	301億9,500万円	△46億6,700万円	△15.5%
特別会計	111億6,600万円	113億4,200万円	△1億7,600万円	△1.6%
国民健康保険事業特別会計	49億7,000万円	51億7,500万円	△2億500万円	△4.0%
後期高齢者医療特別会計	7億7,500万円	7億100万円	7,400万円	10.6%
介護保険事業特別会計	54億2,100万円	54億6,600万円	△4,500万円	△0.8%
企業会計	14億2,341万8千円	13億3,193万7千円	9,148万1千円	6.9%
水道事業会計	10億6,929万7千円	9億8,183万7千円	8,746万円	8.9%
公共下水道事業会計	2億6,397万8千円	2億4,855万8千円	1,542万円	6.2%
農業集落排水事業会計	9,014万3千円	1億154万2千円	△1,139万9千円	△11.2%
合計	381億1,741万8千円	428億6,893万7千円	△47億5,151万9千円	△11.1%

令和8年度当初予算を市民1人あたりに換算すると…

市民1人当たりが負担する市税 総額 125,836円

※金額は、令和8年2月28日現在の住基人口(30,656人)で計算しています。
(鉱産税、国有資産等所在市町村交付金は除く)



市民1人当たりに使われるお金 総額 832,724円

※金額は、令和8年2月28日現在の住基人口(30,656人)で計算しています。



令和8年度 当初予算の特徴

南九州市では、将来都市像である「人と自然が共生する 活気あふれる 住みよいまち南九州市」を目標として掲げ、南九州市総合計画に基づき、まちづくりを進めています。ここでは、令和8年度の当初予算の特徴について紹介します。

子育て支援の充実

1 ウエルカムベビー事業費

継続 〔1704万9千円〕

子どもの健やかな成長を願い、出生祝金、伝統的工芸品、1歳未満の子どもにウエルカムベビータケット（育児用品購入用）を支給します。

2 児童福祉関係費

継続 〔1019万3千円〕

次代を担う子どもの健やかな成長を願うとともに小学校への入学を祝い、子育て応援小学校入学祝金を支給します。

3 妊産婦健康診査関係費

継続 〔1638万1千円〕

妊婦健康診査、妊婦歯科健康診査、産婦健康診査などの実施により、妊産婦の疾病や育児不安を早期に発見し、支援することで妊産婦や母子の健康保持を図ります。

4 私立保育所等運営費

一部新規 〔15億7584万4千円〕

保育所などへの運営費支給やおむつ処分支援、4月からは保護者の就労状況に関わらず安心して

通園できる「こども誰でも通園制度」の開始により、子どもにとって快適で良質な教育環境の整備を行います。

教育環境の充実

1 ふるさと学習プロジェクト事業費

新規 〔519万3千円〕

各小学校の特色ある教育活動を充実させるため、郷土のよさを生かした「ふるさと学習プロジェクト事業」を中心に、地域に開かれた活力ある学校づくりを進めます。

2 小学校施設管理費

一部新規 〔1億6486万2千円〕

小学校の学校施設（長寿命化、LED化など）の実施設計、工事および修繕などを行い教育環境の整備を図ります。

3 中学校教育振興事業費

一部新規 〔7058万8千円〕

中学校における特別支援教育の充実、教材備品など教育環境の整備、情報教育の充実を図ります。また、令和8年度から修学旅行費補助金により保護者の負担軽減を図ります。

住みやすいまちづくりと 移住・定住対策の充実

1 移住定住促進対策事業費

一部新規 〔9127万9千円〕

マイホーム取得、子育て世帯への家賃補助、空き家活用などの支援を行うほか、新規卒業者等地元就職奨励金を新設するなど、本市への移住・定住を促進します。

2 地区公民館管理運営費

一部新規 〔4654万4千円〕

地域住民の交流および生涯学習の拠点となる地区公民館の改修や、適正な維持管理を行います。

産業の振興

1 荒廃農地解消事業

継続 〔300万円〕

茶園の放棄など荒廃農地の解消を行うため、重機を用いたの抜根、整地作業などの経費を助成し、新たな農作物の生産を行い、農業所得の向上を目指します。

観光の振興

1 寺師匠活用事業費

一部新規 〔1億8183万2千円〕

「稼ぐ観光戦略」として、本市への滞在時間延長による観光消費の拡大に主眼を置き、知覧武家屋敷庭園寺師匠の改修などを行い、観光消費額の拡大を図ります。

2 大野岳整備事業費

新規 〔5403万1千円〕

展望所および展望デッキを整備することにより、滞在時間の延長や関係・交流人口の創出を図ります。

3 観光振興費（一般経費）

一部新規 〔5237万4千円〕

地域の稼ぐ力を引き出す明確なコンセプトを持った観光地域づくりを推進するため、一般社団法人南九州市DMOを司令塔とした取り組みを進めます。